

# どんぐり山行通信 鹿俣山

第66号

2011年8月20日(土)  
雨  
参加者 19名

かのまたやま(1637m)



2日前までの猛暑が嘘のような長袖が欲しい小雨が降る天気の中を駐車場からすぐに玉原湿原に入る。花はほんのちょっと咲いている程度。もっと早ければ水芭蕉が咲いていたであろう。鹿俣山を



指して平坦な道を歩む。ガスで煙るブナの森に大ぶりの笹の茂る道だ。ブナの根っこが変形したブナ地蔵が濃い緑の苔をまとっている。見上げるとブナの大きな灰色の幹が明るい黄緑の葉をつけて雨模様の空にそびえている。少しずつ



傾斜が増してくる。11時頃に狭い頂上に到着。まったく景観はない。いつものようにおにぎりをほお張る。今日のごちそうは柿のシャーベットと真桑瓜だ。子供のころ食べた黄色い皮とあっさりした甘みが懐かしい。写真を撮ったあと下り始める。道々どぎつい色をした茸が生えている。焼



きたたのパンようにふっくらした茸、黄色に赤のド派手なマドンナのような茸、そして玄人好みのしっとりとした紫色の茸。じっとこちらを見て「私を食べてもいいのよ」と囁き、迫ってくる。思わずクラクラとして手をだそうとすると、突如後ろから寅さんが「そいつを食っちゃーおしめえよ」という。じっと我慢だ。男はつらいよ・・・。1時間ほどでスキー場のラベンダーパークに到着。サルビア、マリーゴールドなどが整然と咲き誇っている。



ゆっくりとゲレンデを下って駐車場に。今日はいつもと違ってなだらかなお散歩コースで年寄りに御配慮いただきありがたいことでした。



\*\*\* 特別企画 苗場山 \*\*\*

7月23日から1泊で。登りはちょっときつかったけど、頂上の広い湿原の木道を、高山植物を眺めながら歩く。小屋の食事上々。翌朝の御来迎を拜んで湿地帯を下る。温泉に入りビールで乾杯。楽しかった。(伴)